



ENA FES オープニングアクト（恵那西中学校の合唱）



議会だより12月1日号

～目次～

9月議会定例会提出議案の概要	2～3
議案議決結果	4～5
議会活動報告	5
決算審査特別委員会報告	6～7
9月議会常任委員会報告	8～9
一般質問（10人登壇）	10～14
中学生と語る会提言書提出	15
編集後記	16
表紙の説明（ENAFES）	16

令和6年 第5回定例会 決算の認定及び補正予算等を可決

令和6年第5回定例会が8月28日から9月30日までの34日間にわたり開催されました。

今回の議会に上程された議案は、決算の認定8件、企業会計利益の処分及び決算の認定2件、条例の一部改正3件、その他議案2件、人事案件5件、補正予算関係8件、追加議案ではその他議案1件、補正予算関係1件、議会提出議案1件の、合計31件です。主な議案の内容は次のとおりです。



決算の認定等

○令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定等10件

令和5年度に執行した会計ごとの事業の決算、利益の処分について、決算審査特別委員会を設置して16人の委員で審査を行った。特別委員会の委員は次のとおり。

委員長	柘植孝彦	副委員長	山内敏敬
委員	林 貴光	委員	太田敦之
	秋山佳寛		服部紀史
	平林多津子		猿渡南江
	佐々木透		西尾 努
	中嶋元則		安藤直実
	鶴飼伸幸		後藤康司
	町野道明		堀 光明

条例

○恵那市国民健康保険条例の一部改正

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行などに伴い、所要の改正を行う。

○恵那市民の歯と口腔の健康づくり推進条例の一部改正

国が地方公共団体における歯科保健医療業務指針を新たに策定したことに伴い、地域における歯科保健医療提供体制の充実を図るなど、所要の改正を行う。

○恵那市福祉医療費助成に関する条例の一部改正

児童扶養手当法施行令の一部改正により、所要の改正を行う。

その他

○財産の取得

恵那消防署に配備する資機材搬送車を購入する。

- 契約の方法 指名競争入札
- 契約金額 5,494万5千円
- 契約の相手方 岐阜市金園町三丁目25番地 株式会社 ウスイ消防



▲購入車両のイメージ図

○市道路線の認定

武並町195号線及び飯地町90号線から93号線の5路線について市道の認定を行う。

人事

○人権擁護委員の候補者の推薦

委員の任期満了（令和6年12月31日）に伴い、新たに人権擁護委員の候補者を推薦することについて同意する。（敬称略）

各務素弘氏（長島町）	再任
市川雅子氏（三郷町）	再任
堀尾佳裕氏（岩村町）	再任
堀 君史氏（明智町）	再任
松岡和美氏（上矢作町）	再任

補正予算

一般会計補正予算 2億9,263万4千円増額ほか7会計の補正予算を可決

○令和6年度一般会計補正予算（第5号）

既定の歳入歳出予算の総額に2億9,263万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を318億996万1千円とする予算を計上した。主な内容は、7月の大雨により被災した農業用施設の復旧を

行うため、6,260万円を、老朽化した藤花苑の修繕を行うため、2,935万4千円を、東野コミュニティセンターのトイレ洋式化などの整備を行うため、1,982万2千円を、ポーランド日本美術技術博物館マンガ設立30周年式典への参加にかかる経費として140万円を、現在実施している木造住宅無料耐震診断について、当初予定していた30件からさらに20件分を追加するため、94万6千円を増額するなどの予算を計上した。

特別会計補正予算

○令和6年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に2,677万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を52億897万7千円とする予算を計上した。主な内容は、繰越額の確定に伴い、国民健康保険基金からの繰入金及び、前年度繰越金を増額して充当するとともに、国民健康保険給付費等交付金などの過年度精算による返還金に2,677万7千円を計上した。

○令和6年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に1億4,064万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を64億7,964万3千円とする予算を計上し

た。主な内容は、繰越額の確定に伴い、介護保険給付基金からの繰入金を減額し、前年度繰越金を増額して充当するとともに、介護給付費負担金などの過年度精算による返還金に1億3,947万9千円などを計上した。

○令和6年度恵那市遠山財産区特別会計補正予算及び令和6年度恵那市上財産区特別会計補正予算

繰越額の確定に伴い、財産区基金からの繰入金を減額し、前年度繰越金を増額して充当した。

○令和6年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に2,493万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を9億4,203万8千円とする予算を計上した。主な内容は、後期高齢者医療広域連合への保険料負担金として2,312万8千円などを計上した。

○令和6年度恵那市病院事業会計補正予算

医療機器の修繕費として643万2千円を追加し、補正後の歳出予算の総額を26億403万2千円とする予算を計上した。

○令和6年度恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額に342万2千円を追加し、補正後の歳出予算の総額を6億2,562

万2千円とする予算を計上した。主な内容は、山岡診療所運営交付金の精算金の増によるもの。

その他(追加議案)

○契約の締結

旧岩村振興事務所の改修工事に係る契約を締結する。

○契約金額 2億1,340万円

○相手方 恵那市岩村町927番地 株式会社小栗材木店



▲外観イメージCG 図

補正予算関係(追加議案)

一般会計補正予算 恵那南中学校校舎の増改築のため15億2,500万円増を可決

○令和6年度一般会計補正予算(第6号)

令和6年度恵那市一般会計補正予算は、恵那南中学校の校舎の増築及び既存校舎等の改修を行うため、本年度分の事業費として15億2,500万円を追加し、歳入歳出の総額を333億3,496万1千円とするほか、令和7年度までの継続費を設定する。

議会提案

○恵那市議会個人情報保護条例施行規則の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の施行に伴い、健康保険証が廃止されることから、同証を引用する例規の改正を行うため、所要の改正を行う。

9月議会定例会傍聴

34名

9月議会 議決結果

(全会一致分)

議案名		採決結果
条例関係	恵那市国民健康保険条例の一部改正について	可決
	恵那市民の歯と口腔の健康づくり推進条例の一部改正について	可決
	恵那市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
令和5年度決算認定	令和5年度恵那市遠山財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	令和5年度恵那市上財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定
	令和5年度恵那市水道事業会計決算の認定について	認定
	令和5年度恵那市病院事業会計決算の認定について	認定
	令和5年度恵那市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決認定
	令和5年度恵那市国民健康保険診療所事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決認定
その他	財産の取得について	可決
	市道路線の認定について	可決
	契約の締結について	可決
人事関係	人権擁護委員の候補者の推薦について (各務 素弘氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について (市川 雅子氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について (堀尾 佳裕氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について (堀 君史氏)	同意
	人権擁護委員の候補者の推薦について (松岡 和美氏)	同意
補正予算関係	令和6年度恵那市一般会計補正予算 (第5号)	可決
	令和6年度恵那市国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号)	可決
	令和6年度恵那市介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)	可決
	令和6年度恵那市遠山財産区特別会計補正予算 (第1号)	可決
	令和6年度恵那市上財産区特別会計補正予算 (第1号)	可決
	令和6年度恵那市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	可決
	令和6年度恵那市病院事業会計補正予算 (第1号)	可決
	令和6年度恵那市国民健康保険診療所事業会計補正予算 (第1号)	可決

9月議会 議決結果

(採決が分かれたもの)

件名	会派・議員名	結果	新 政 会											共産党	公	市	リ	無	
			堀光明	後藤康司	鶴飼伸幸	千藤安雄	中嶋元則	西尾努	柘植孝彦	伊藤勝彦	服部紀史	太田敦之	山内敏敬	林貴光	猿渡南江	平林多津子	町野道明	安藤直美	佐々木透
令和5年度決算認定	令和5年度恵那市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	令和5年度恵那市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	令和5年度恵那市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	令和5年度恵那市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
補正予算	令和6年度恵那市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○
議会関係	恵那市議会個人情報保護条例施行規則の一部改正について	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○

*共産党：日本共産党、公：公明党、市：市民ネット、リ：リベラルえな、無：無所属

○：賛成、×：反対、欠：欠席、-：棄権

議会活動報告

他市町村からの 視察受入状況(8件)

<p>9月</p> <p>28日 総務文教委員会 市民福祉委員会 経済建設委員会 決算審査特別委員会 議会運営委員会 全員協議会</p> <p>18日 議会だより編集会議</p> <p>11日 恵那市議会定例会(第2日)</p> <p>10日 恵那市議会定例会(第3日)</p> <p>4日 恵那市議会定例会(最終日)</p>	<p>8月</p> <p>20日 議会運営委員会 全員協議会 議会だより編集会議 議会運営委員会 決算審査に係る勉強会 恵那市議会定例会(初日)</p>	<p>10月</p> <p>8日 大分県臼杵市議会 子育て支援策の現状及び市民からの評価、受け止めについて</p> <p>16日 三重県松阪市議会 子育てと移住定住について</p> <p>17日 長野県伊那市議会 恵那南地区中学校統合準備事業について</p> <p>21日 神奈川県南足柄市議会 神奈川観光ビジョンについて</p> <p>22日 宮崎県小林市議会 学校統廃合について</p> <p>23日 福岡県添田町議会 道の駅「おばあちゃん市・山岡」について</p>	<p>11月</p> <p>8日 山梨県甲斐市議会 移住定住・住みやすい街づくりについて</p>
--	---	--	---

28日 東濃飛騨市議会議長会
事務局研修会

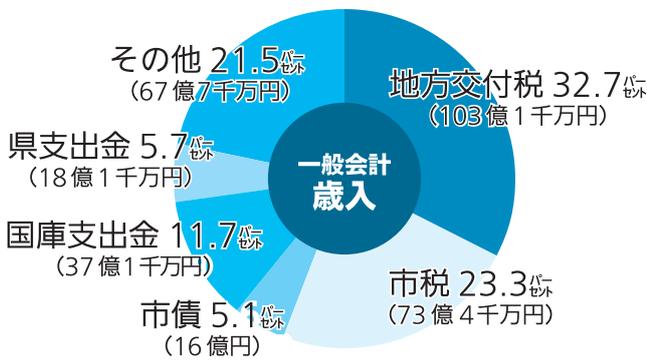
22日 恵那市制20周年記念式典
議会運営委員会
各派代表者会議
全員協議会
議会だより編集会議

決算審査特別委員会報告

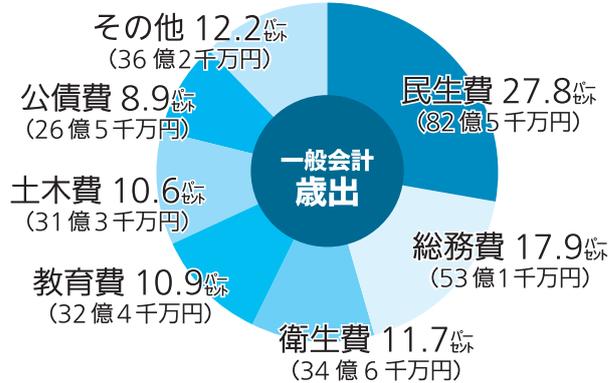
決算審査特別委員会は、議長・監査委員を除く全議員で委員会を構成し、付託された議案の審査を行いました。令和5年度の決算の状況は、一般会計は歳入315億4,687万8,000円、歳出296億6,412万4,000円となり、歳入歳出差引額は18億8,275万4,000円で、令和6年度への繰り越し事業の財源6億8,310万6,000円を差し引いた実質収支額は11億9,964万8,000円の黒字となりました。

令和5年度 一般会計決算額（実質収支額）

一般会計の歳入総額 **315 億円**



一般会計の歳出総額 **297 億円**



令和5年度恵那市一般会計及び特別会計・企業会計決算に係る議案10件の審査を行うため、9月10日・11日の2日間、決算審査特別委員会を開会しました。

各委員からの質疑に対し、それぞれの担当課長を中心に答弁がありました。討論、採決を行い、一般会計及び特別会計・企業会計8件は「認定すべきもの」、企業会計2件は「利益の処分については可決すべきもの、決算については認定すべきもの」と決しました。

◎ 一般会計
問 扶助費と補助費等、投資及び出資金・貸付金が増加している理由と、経常収支比率への影響は。

答 扶助費は、物価高騰対応支援として、電気ガス食料品等価格高騰支援給付金などの増加によるもの、補助費等は下水道事業会計補助金及び負担金の増加、投資及び出資金・貸付金では、病院事業会計、水道事業会計の出資金の増加が主な理由。経常収支比率への影響は、分子となる歳出の義務的経費の増加及び分母となる歳入の地方税や臨時財政対策債の減少が比率に影響し、3ポイント高くなっている。必要な投資的事業も行っていくように、健全財政に努める。

◎ 一般会計

主な審議内容

問 モータースポーツ推進経費について、経済効果と財源は。

答 市からラリージャパン実行委員会等への負担金、出資金は、合計で4億8,500万円。収入は、国庫補助金、出資金返還金、企業版ふるさと納税の合計で4億9,757万円。市税の投入はなかった。経済波及効果は全体で約12.6億円、簡易測定での市内経済波及効果が2億8,000万円と算出されている。地域の方の意見は、前回よりもたくさんの方が来てにぎわった、お客さんのマナーがよくなった、ボランティアとして参加してよかった、来年もぜひ開催してほしいという意見が多く、決算の歳出に見合った効果があったと考えている。

非常勤職員事務経費の有給インテンシブの成果は。

答 令和5年度は3年目で、昨年15名受入れたうち6名が恵那市役所を受けていただいた。会計年度任用職員という立場で業務を行い、インテンシブの経験者が、恵那市役所を就職先として目指すに当たり、職員になってからのミスマッチが防げており、優秀な学生の採用というメリットがある。また、市役所に入った後、他の新規採用職員よりも仕事に馴染みやす

く、またリーダーシップをとって他の新規採用職員もまとめている。

問 児童福祉対策費の子育て支援策としてプレミアム付商品券を配付した事業の評判や反響は。

答 18歳までの子ども6,495人に、1万2,000円分のプレミアム付商品券を配付した。こども元氣プラザを利用する保護者の方からは、何に使用するか楽しみにしている。もらえてうれしい。商品券ではなく現金のほうが使いやすいとの声があった。総合的に考えると、評判はよかった。

問 地産地消推進事業費の全国発酵食品サミット事業で、発酵のまちづくりについての成果と今後の展開は。

答 発酵食品の魅力と理解の醸成を図るため、健康フェスタ、こどもフェスタなどへのブース出展のほか、観光協会と連携して、恵那の発酵文化バスツアーも開催した。また全国発酵食品サミットinえなを開催し、2日間で全国から延べ約1万8,000人の来場者を記録し、発酵マルシェでは約1,100万円の売上げがあり、発酵食品に対する関心の高さと、このイベントを契機に発酵のまちづく

りの機運を高めることができた。

問 令和5年度から始まった里山防災整備事業補助金の実績は。

答 家屋や公共施設、林道や農道に被害を与える恐れのある立木や、倒木の恐れがある樹木などの危険木の所有者もしくは、被害を受ける建物の所有者が、危険木を伐採すると2分の1の補助が出るもので、令和5年度は14件の申請があった。うち13件は、危険木の所有者が隣家等に危険を及ぼすとして補助を受けて伐採された。1件は、所有していない木だが自分の家に危険があるとして、補助を受けて伐採された。

問 応急手当普及啓発事業費のAEDについて、昨年の中学生と恵那市の未来を語る会で提案のあった屋外へのAED設置の現状と今後の予定は。

答 市内公共施設設置のAED91台のうち、屋外設置は各地区のコミュニティセンターなど18か所。本年度から年4施設のAEDを順次、屋外に移設する計画。本年度は中山道広重美術館、えなてらす、恵那市役所、恵那市中央図書館の4施設の屋外移設を進め、来年度以降は市民が集まり、運動する施設、主に小中学校に設置してある

AEDを屋外に移設する計画である。

問 小学校教育振興費、中学校教育振興費で、児童生徒使用のタブレット端末について中学生と語る会で更新要望があったが、現状は。

答 令和3年1月から活用が始まり今年で4年目。個人差にもよるが電池の消耗等早まるなど劣化が見られるものもある。過度な劣化の場合は、予備機を代替端末として利用している。国としてタブレットの更新費用補助を行うことが決定され、県単位の共同調達で次期更新に当たるという中、恵那市では来年度にタブレットの一斉更新を予定し、新しい端末での活用が支障にならないよう努めていく。

◎特別会計、企業会計

問 水道事業会計について、給水の費用が使用料で賄えていないが、今後の対応と考え方は。

答 漏水対策を実施し、修繕や更新工事を実施してはいるものの、この効果は毎年数値には表れていない。経営戦略では、令和15年度の有収率目標値を85・1%に設定しているものの、現在の修繕や老朽管更新だけで有収率を上げることが難しいと考えており、実質的な要因の追求と根本的な対策に取り

組むなど、新たな対策が必要であると考えている。

○主な財源指数 ()は前年度

- ・ 財政力指数…………… 0.443(0.446)
- ・ 経常収支比率…………… 90.4%(87.4%)
- ・ 公債費比率……………0.8%(0.1%)
- ・ 実質公債費比率……………1.0%(0.0%)
- ・ 人 口……………46,450人(47,260人)
- ・ 世帯数……………19,936世帯(19,875世帯)

(令和6年4月1日現在)

○市債(借金)、基金(貯金)の状況 (単位：万円)

区 分		令和5年度末 現在高	市民一人 当たり
市債	一般会計	238億2,007	51
	企業会計	130億9,250	28
	合 計	369億1,257	79
基 金		211億4,739	45

経済建設委員会

恵那峡SAスマートインターチェンジ（仮称）新規事業化

令和6年9月6日に国土交通省より、恵那峡SAスマートインターチェンジ（仮称）の新規事業化が発表された。本年度はNEXCO中日本と設計や用地取得、工事の各工程における実施主体に関する協議が行われ、来年度から測量、設計などの作業が進められていく予定。

平成26年に設置に向けた検討を開始し、令和5年には国土交通省による準備段階調査が着手され市では準備会を設立した。令和6年7月に地区協議会で実施計画書を策定し、国土交通省や関係機関に実施計画書と連結許可申請書を提出していた。

○発表内容

- ・名称（仮称） 恵那峡SAスマートインターチェンジ（仮称）
- ・路線名 中央自動車道西宮線（中津川IC～恵那IC間）
- ・接続箇所 岐阜県恵那市
- ・接続路線
上り（東京方面） 市道大井町322号線
下り（名古屋方面） 市道東野103号線
- ・接続形式 SA・PA接続型（恵那峡SA）
- ・形式 全方向（4／4）
- ・運用形態 全車種、24時間



▲恵那峡SAスマートIC（仮称）
周辺状況イメージ図

市民福祉委員会

条例の一部改正3件

- 恵那市国民健康保険条例の一部改正
(退職者医療制度が廃止となるため、関係する規定を改正する等)
- 恵那市民の歯と口腔の健康づくり推進条例の一部改正
(母子の歯科口腔保健の予防対策に関する規定に子どもの口腔機能に関する規定を追加する等)
- 恵那市福祉医療費助成に関する条例の一部改正
(児童扶養手当法施行令の一部改正により、引用する規定に項ずれが生じたための改正)

恵那市健康プラザ令和6年度改修内容 一部変更に伴う増額補正予算……1,710万円

○改修内容の概要

- ①山岡歯科診療所スペースを有効活用し、山岡デイサービスセンターゆとりの生き生き教室と、デイサービス静養室を専属で確保する。
- ②既存施設を有効活用するため、山岡ショートステイほのぼの荘の2床増床を既存施設内の改修で対応する。
- ③サービス提供体制の適正化に資するため、厨房、更衣室、休憩室の関連工事を行う。



▲恵那市健康プラザ

定例会常任委員会報告

総務文教委員会

令和6年度一般会計補正予算（第5号）

○コミュニティセンター管理経費1,982万2千円

東野コミュニティセンターのトイレ洋式化と多目的トイレの整備を行うもの

○基幹交通対策事業費1,677万3千円

明知鉄道に対して経営支援を行うもの

（経営状況）

令和5年度の輸送人員は、30万7,857人と令和4年度比で3万5,770人増加し、当期末処理損出では1,952万2千円と、令和4年度比で256万5千円損失改善している。

令和6年度一般会計補正予算（第6号）

○恵那南中学校増改築工事35億2,653万円

事業概要

(1) 校舎及び渡り廊下の増築

- ・校舎 木造3階建て、延床面積2,966㎡
- ・渡り廊下 鉄骨造3階建て、延床面積335㎡

(2) 既存校舎の改修

- ・平成7年3月建築、RC造2階建て、延床面積4,012㎡

(3) 屋内運動場の改修

- ・平成8年2月建築、RC造2階建て、延床面積1,651㎡

歳入

（単位：千円）

項目	令和6年度	令和7年度	計
国庫補助金	180,333	249,865	430,198
県補助金		30,000	30,000
過疎対策事業債	1,295,800	1,684,400	2,944,200
繰入金	48,867	73,265	122,132
計	1,525,000	2,001,530	3,526,530

歳出

（単位：千円）

項目	令和6年度	令和7年度	計
増改築工事費	1,510,650	1,980,000	3,490,650
工事管理業務委託料	14,350	21,530	35,880
計	1,525,000	2,001,530	3,526,530



▲完成予定イメージ図



▲完成予定図 廊下



あん どう なお み
安藤直実

恵那南地区 統合中学校と 教育の充実につなぐ



議会中継

※恵那南地区統合中学校・岩村、明智、山岡、上矢作、串原の各中学校を廃止し山岡中学校の場所です。「恵那南中学校」として令和8年4月1日に開校予定。

問 バス通学はどのようになるのですか。

答 開校時の生徒は336人を見込み、そのうち257人がバス通学となる予定。乗車時間が45分ちょうどの生徒は2人、最も早く自宅を出る生徒は朝7時頃になると想定しています。バスの中は生徒自身が自ら考えて過ごす時間とし、車内はWiFiを整備する予定。バス利用の生徒の保護者に確認を行い個別に相談できる機会を設けます。

(教育委員会事務局長)

問 教職員はどう充実するのですか。

答 特別支援学級の担任の教員の状況にもよるが、5教科では各教科とも3人以上の専科教員の配置ができ、教職員同士で相談や研究、協力が行いやすくなり

ます。

(教育委員会事務局長)

問 南地区のコミュニティセンター中心に設置予定の「地域教育拠点施設」とは何ですか。

答 ①オンラインサービス等で自主学习できる場、②総合学習として恵那南地域全体で歴史文化を継承するため生徒が地域の文化に触れて学ぶ場、③何らかの理由で登校困難となった生徒が学習できる場、として考えている。常設予定で人員配置は検討中です。

(教育委員会事務局長)

その他の質問

- ・不登校生徒の学びの場について
- ・特別支援に関わる教員の専門性向上について
- ・民間フリースクール利用者への学習費助成について

一般質問



まち の みち あき
町野道明

災害の対応策について



議会中継

問 自然災害が激甚化・頻発化する中、災害対応を不断から検証し、必要な見直しを行うことは欠かせません。

①土砂災害の危険個所の把握、②地区防災計画の実効性、③災害時の安否や不明者の確認、④災害ケースマネジメントや福祉的な支援、⑤マイ・タイムラインの推進、⑥巨大地震発生注意の備えなどの見直しや取組の状況は。

答 ①恵那でのハザードマップで前兆現象について記載している。日頃から家の前を気にかけて命を守る避難行動の注意喚起を図っていききたい。②各地域では地区防災計画に基づき、防災、減災に関する研修等の活動が実施され、その取組を地域実感で共有できるように活動を行い、地域関係者に参加をいただいている。③避難行動要支援名簿を作成し、振興事務所を通じ、各自会等に配布して有事に情報を共有する。安否不明者の位置確認は、携帯事業者と位置確認の提供の見直しがあり

スムーズに対応できるよう進める。④防災基本計画、防災地域計画に基づき、事例を参考に今後、取り組んでいきたい。⑤避難行動の実践に向けて、マイ・タイムラインの研修会を開催している。また、アプリなどマイ・タイムラインで管理できないか検討していく。⑥今回初めて南海トラフ地震臨時情報巨大地震注意を発表された。市のウェブサイトには、内閣府の臨時情報、巨大地震注意発令された場合の、地震への備えの再確認、避難の準備など市民に周知した。また、内閣が提唱している7つの備えにあるように、地震に強い家づくりが必要であると啓発している。住宅耐震化促進検討委員会を設立して、市民生活の安全を確保するため、耐震化率向上の施策を検討していく。

(総務部長)





ひらばやし たづこ

平林多津子

「10年目を迎える こども園の現状と 今後の課題」



議会で継

問

平成27年行政が全市一斉にこども園化した理由は。

答

就学前の子どもが居住地に
関係なく、等しく幼児教育・
保育が受けられる環境を整えるた
めに市内公立保育園、幼稚園を認
定こども園とした。

問

この間、こども園の制度や
待遇が変わってきたことは。

答

国の方針により3歳以上の
保育料が無償化となった。
5年度から一定の条件で育児休業
中の幼児コースや保育コースの利
用が可能となった。6年度から3
歳以上児の給食費が無償となった。

問

平成26年説明会での質問・
不安・意見(コースによる
生活時間の格差や子どもへの影響
等)9年間で解消できたか。

答

コースが違っても一緒に活
動することでこれまでと変
わらない友達作りができてい
る。保護者の子ども園評価では、総合
的に評価が高く、おおむね満足さ
れ不安は解消されていると考える。

問

「長期休暇・土曜保育の扱
い要求」や「2号認定と同
じ活動を望む」にどう答えるか。

答

こども園では保護者の就労
状況に合わせて、子ども子
育て支援法に規定する認定を受け
る必要がある。幼児コースも幼児
コースも、活動は午後2時までの
共通時間を中心に一日の中に計画
的に組み込まれている。

問

保護者の要望に対する今後
の方向性は。

答

個々への対応と、制度を変
えないと対応できない問題
がある。制度改正が必要な場合、
法令条例の整合性や公平性等を検
証し、質の高い教育保育が提供で
きるよう検討していく。

問

令和6年度の潜在的待機児
童の現状と保護者の対応
は？

答

8月末の時点で入園待ちの
登録者は29人。8月末まで
の希望で入園できない子どもは7
人で保護者は育児休業中。その他
22人は年度内に入園を希望してい
る状態である。
(副教育長)



さわたりみなえ

猿渡南江

安心・安全の 食と農について



議会で継

食物アレルギーと学校給食 について

問

2021年3月議会後の状
況について

答

令和3年度から180人前
後。対策として食物アレル
ギー対応検討委員会を設置して
おり、適切な対応方針、情報共有し
ている。アレルギー対応食は一般
とは分けて調理し、配送している。

問

除去食は栄養摂取面で課題
はないか。

答

鉄分やカルシウムといった
成長期に必要なミネラルの
不足が考えられるが、栄養面より
安全面を最優先した給食を提供し
ている。(教育委員会事務局長)

問

市立恵那病院にアレルギー
専門外来ができないか。

答

アレルギー疾患にかかわら
ず、専門の医師を確保する
ことは非常に困難。地域医療振興
協会とも今後検討していければと
考えている。(医療福祉部次長)

子どもたちに安全な食を

問

有機米などのオーガニック
食材を取り入れることはで
きないか。

答

食材により、まとまった量
の納品が必要。安定した食
材が必要なため、全ての食材をオ

学校給食の無償化について

問

自治体予算の1%でできる。
恵那市としての考えは

答

学校給食法11条に基づき給
食費は保護者の負担となっ
ている。今後、国、近隣市の状況・
動向を注視していく。
(教育委員会事務局長)

有機農業をすすめるために

問

2050年に向けたみどりの
食料システム戦略に恵那
市としての取組は。

答

もみ殻や剪定した枝を木炭
化し、微生物を付着させた
高機能バイオ炭の活用をすすめる。

問

販路拡大が大きな課題。

答

①たべとるマルシェの開催、
②地域商社ジバスクラム恵
那による販路拡大、③恵那ふうど
認証による事業者とのマッチング
の推進。

問

移住・定住の柱に有機農業
を位置づけてはどうか。

答

新規就農者に対するサポー
トやフォロワー体制は有機
慣行農業の種別に関係なく構築し
ている。資金面、生活面など総合
的にフォローしていく必要がある
と考えている。
(農林部長)

一
般
質
問



あき やま よし ひろ
秋山佳寛

緊急通報整備事業 市内の移動サービス について



議会中継

高齢独居世帯が必要としている
緊急時通報整備について

問 緊急通報体制の概要は。

答 当制度の対象者は、一定の条件に当てはまる日常生活に注意を要する人。申請が必要。

問 スマートスピーカーには、「緊急通報」機能があるか。

答 緊急事態の把握に対応することはできない。

問 要支援者名簿と「緊急通報システム」との関係は。

答 緊急通報システム、避難行動要支援者名簿、個別避難計画の作成までがつながれば災害時における地域の見守り体制の構築に向けた効果は大きい。

問 高齢者の情報等は随時変わるため、常にアップデートが必要。情報システムが複数あり混在化しているため、情報を集約した方がよいと思うがどうか。

答 システムの混在化、制度の集約化については考えていない。
(医療福祉部次長)

まちなか巡回バスとシェアサイクルについて

問 始まって間もないため、いろいろなニーズに応えきれない所もあると思うが、2つの移動サービスの運用状況はどうか。多くの人に利用していただき意見・要望を取り入れ使いたいサービスになるよう願う。

答 まちなか巡回バスの令和5年度の利用者は、年間1万669人、月平均で889人。シェアサイクルの利用者は、年間1328人、月平均で111人。

問 公共交通機関の利用は、マイカー利用と比べ不便ではあるが、歩く距離が増え健康につながるといった実証実験を実施している自治体もある。公共交通機関を運動習慣づくりに利用しても面白いと思うが、市内の2つの移動サービスの利用増進のための更点や、改善点などはあるか。

答 まちなか巡回バスは、明知鉄道との乗り継ぎ時間を配慮した時刻に変更したり、平日便数を10便から13便に増便、バス停移設などを行った。シェアサイクルもステーションの増設を行っている。
(まちなか巡回バス部次長)

一般質問



さ さ き とおる
佐々木透

「安心して働き 続けられるまち」 について



議会中継

働きながらの育児子育て
世代について

問 就労と育児子育ての環境について、これまでに、どのような取組をしてきたか。また、今後の新たな施策は。

答 子育てと就労の両立支援として、放課後児童クラブを平成6年に一部の小学校区で開設し、令和元年には全小学校区に開設をした。

また、中学生までの医療費の無償化を高校生世代まで拡大、令和6年度からは、さらなる子育て支援の充実策として、こども園などでの3歳以上児給食費無償化などの事業を実施している。
(医療福祉部長)

介護離職防止の施策について

問 働きながら介護支援を必要とする場合、どのような制度が適用可能か。また、職場への周知と介護離職防止の施策はあるか。

答 家族介護者への支援の一環として、介護離職防止に向けた相談窓口の周知を実施している。
令和5年度に介護離職防止ポスターを作成し、恵那商工会議所、恵那市恵南商工会に依頼し、市内企業130事業所に配布した。企業への周知は継続的に実施していきたい。ポスターには、1人で悩まずに、まず地域包括支援センターに御相談ください」と記載し、訪問通所サービス、また、入所など一人ひとりに合ったケアプランを提案することも可能であることとして、介護者の方が自分らしく介護するための情報を提供し、安心して働くことができるよう支援していくことを掲載し、周知を図っている。
また、働きながら介護をしている場合は、日中の安否確認や、必要な支援ができるサービスの内容とともに、介護者の休養を図るためショートステイサービスを提案している。
(医療福祉部次長)



はつとりのり ぶみ
服部 紀史

問

立地適正化計画策定の進捗及び方向性は。

答

令和5年度に策定の基礎となるデータ整理を行い、令和6年度、令和7年度の2年間で策定する。市域全体を対象とした「拠点ネットワーク型都市構造」として、中心市街地と各地域の拠点を結ぶネットワークの充実を目標としている。

問

第3次恵那市総合計画の策定において、目標とする恵那市の将来像の設定及び手法は。

答

バックキャストイングの手法により、最初に目標とする将来像を描き、次にその将来像を実現するための道筋を未来から現在へと遡って何をすべきかを考える手法により策定を進める。将来像の設定については、市民から意見を聴取し設定していく。

問

実効性のある公共施設の統廃合計画とは。

答

恵那市公共施設等総合管理計画に27項目に分類された

希望のもてる地域づくり
特色ある持続可能な
地域づくり



議会中継

問

恵那南中学校統合により廃校となる校舎の跡地利用の考え方は。

答

基本的な考え方として、用途廃止した建物は、市有行政財産の有効活用に関する基本方針に基づき、他の目的に用途を変更して行政財産として活用するか、普通財産に移管して処分することになる。活用の検討は、その後の運営方法も見据えて、まずは地域で活用する方法などの意見を聞き、方向性を協議する。最終的に譲渡や売却等も含めて校舎等建物の活用が見込まれない場合は、取り壊していくことを考えている。

(教育委員会事務局長)

人口減少対策について

問

人口減少は地域社会に様々な影響を及ぼす。人口減少による恵那市が抱える課題と対策は。

答

人口減少がもたらす市の課題を「高齢化への対応」「少子化への対応」「若い世代の近隣地域への転出超過の解消」「移動圏域内での人口吸引力の強化」の4つに整理。施策の方向性として、「稼ぐ地域をつくり、安心して働けるようにする」、「地域へ新しい人の流れをつくる」、「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「人が集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる」、「多様な人材の活躍を推進する」、「新しい時代の流れを力にする」の基本目標を定め、各種の施策を展開。

(まちづくり企画部長)

ぎふ若者定着奨学金返還支援制度について

問

県では「ぎふ若者定着奨学金返還支援制度」を新設、制度の詳細と、制度創設を目指す背景は。

答

奨学金を借りて進学した学生が、本制度に登録をした県内企業に就職した場合、県とそ



なかしま もとのり
中嶋 元則

若者の人口流出対策
について



議会中継

の企業が奨学金の一部を代理返還する制度。制度創設の背景として、地方の若者が東京をはじめとする都市部に転出・集中しており、県でも大学へ進学する高校生のうち約8割が都市部等の県外大学へ進学し、県から人材が流出している状況がある。若者の県内定着を促進し、産業人材を確保することを目的としている。

(商工観光部長)

市内就職者への支援の拡充について

問

人口流出対策・地元定着対策として、市内に就職した方への支援、市内に3年間勤続した場合の勤続記念金1万円を、例えば10万円に増額することを提案するがどうか。

答

人口流出などの社会減問題、特に若者の市内定着への対策として、地元就職の促進については重要であると考えており、市としても今後の大きな課題として認識している。地元就職率の向上に向けた具体的な手法については、現在実施している事業の見直しを含め、今後検討を進めていく。

(商工観光部長)

一般質問



いとう かつひこ
伊藤 勝彦

惠那市とホリプロとの連携の可能性 惠那市の未来と「志教育」



議会中継

【問】 惠那市とホリプロとの連携の可能性は。

【答】 一つ目は演技ワークショップの教育活動としての活用であり、子どもたちの人間力を高めたり、教職員のスキル向上に役立てたりできる。二つ目は三学のみちづくり活動の推進と地域の活性化への活用であり、地域課題を解決し、豊かな地域社会をつくる

【問】 「志教育」が始まって10年が経過するが、その効果は。

【答】 地域に貢献し、郷土のよさを引き継いでいく姿や中学生と語る会での提言、学力調査における「地域への貢献度」に対する73・3%という数字など、成果が着実に表れている。

【問】 「志教育」の今後の方向性は。

【答】 「志教育」は県に先駆けて行ってきており、コミュニティスクールや地域学校協働活動を重視していくこと。さらには、高校との連携も視野に入れ、今後はより一層力を入れていく。

【問】 開校する惠那南中学校の「志教育」のイメージは。

【答】 これまで南地区5中学校で行ってきた「生き方学習」をもとに、自分の生まれ育った地域のみならず他の地域について学ぶ中で、違った角度から地域について学ぶことができるようにする。また、地域教育拠点施設を学習の場として地域の方から歴史・文化を学ぶようにする。惠那南地区全体として中学校校区を担う「志」を育てていきたい。（副教育長）

一般質問



う かい のぶ ゆき
鵜飼 伸幸

小坂市政2期目の総括と今後の惠那市政について



議会中継

【問】 新たな惠那市に向けて、惠那南の中学校統廃合や、総合計画、行財政改革といった重要な計画の策定を進めている。今後の市政運営がどうあるべきか。また、市長3期目に向けての考えは。

【答】 リニア開通を契機に、惠那市が大きく変貌を遂げる中、魅力を持ち続けることが持続可能で消滅しないまちにつながると考えている。まちづくりの土台となる基盤整備を推進し、従来の観光客に加え交流人口も含めた人口を増やしていきたい。また、これからの地方が生き残っていくために、学びの機会を提供し続けることが大切であり、今後も進めていくべきだと考えている。学校統廃合は、どこも避けても通れない課題。惠那南中学校を子ども・学校・地域が連携する学習拠点とすることで、新しい中学校が山岡町だけにあるのではなく、惠那各地域の拠点を結ぶネットワークの中で学校が機能する。こうした取組は非常に先進的な取組になると考えている。

【問】 20年前に合併した新しい惠那市は、大きな可能性にあふれ、すばらしい資源と多くの特色を備えた色鮮やかなまち。日本だけでなく世界に誇れるまち。そして、誰もが憧れるような暮らしが手に入るまちになれるのではないかと期待している。少子高齢化と人口減少など解決すべき課題も多いが、皆様の力を結集すれば必ず未来は見えてくると信じている。進みつつある事業をやり遂げるといふ点、そして、今後も多くの新しい事業を進めたいといけないという点において、大変なやりがいを感じている。私自身が生まれ育った惠那市のために、引き続き仕事をさせていただけるとあれば、今まで以上に懸命に働きたい。合併して20年、リニア開通までは10年ほどしか残されていない中、本当の意味での新しい惠那市づくりがこれから始まると思っている。皆様と知恵を出し合い、惠那市の未来を一緒につくっていききたい。（市長）

主な出来事

「中学生と恵那市の未来を語る会」
 提言書をとりまとめ市長へ提出

令和6年7月26日(金)に開催された「中学生と恵那市の未来を語る会」で中学生の皆さんからいただいた提案をまとめ、市長に提言書を提出しました。佐々木委員長から各中学校からの提言書の概要説明があり、太田副委員長からは前年度に提出した提言の対応への謝辞と本年度の語る会の感想が述べられました。

議長からは「語る会は今年で3年目を迎えたが、子どもたちに政治に関心を持つてもらいたいという思いで議会が始めた。大人とは違った子どもの目線で提言してもらい、子どもたちの意見が少しでも市政に反映されれば、子どもたち自身の未来がよくなっていくと実感でき、より政治に関心を持つてもらえるのではないかと。子どもたちが提言したものをまとめてきたので、ぜひ内容を検討いただき、少しでも実践できるものがあれば取り組んでいただきたいと思います。」との意見が述べられました。市長からは「取りまとめていただいた提言書は大変興味深いもので、実行できるものではないかと思えるものがたくさんあった。市役所は執行機関として、子どもたちの夢を実現することが役割だと思っている。子どもたちからの提言書を何とか一つでも二つでも形にしていきたい。」との言葉をいただきました。教育長からは「語る会のような場で、実現

不可能なこともあるかもしれないが、今後子どもたちが夢を語れるような機会を与えていただけるとありがたい。」との言葉をいただきました。



▲左から教育長、市長、千藤議長、広報広聴特別委員会 佐々木委員長、太田副委員長

提言書の主な内容

- ①岩村城跡の交流人口増のための取組
- ②子どもによるエコキャップ回収
- ③閉校となる串原中学校の有効利用
- ④中学生に貸与されているiPadの更新
- ⑤デジタルホワイトボード導入
- ⑥中学生主導による資源ゴミ回収の取組
- ⑦中学校が統合される恵南地域の文化の維持、継承
- ⑧中学生による恵那のPR商品開発
- ⑨恵那市に不足している施設整備
- ⑩空き家有効活用
- ⑪SNS等による情報発信
- ⑫無人運転バス導入による観光ルートの創設
- ⑬自然を生かしたレジャー施設整備
- ⑭ENAFES開催のための協力依頼

YouTube 恵那市公式チャンネルで中学生と恵那市の未来を語る会の当日の様子を公開しています。ぜひご覧ください。



表紙の説明

ENAFES 開催

「中学生と恵那市の未来を語る会」

での生徒会案が実現

10月20日に恵那文化センターにて、市SDGs推進協議会との共同開催で、昨年の「中学生と恵那市の未来を語る会」（恵那市議会主催）で提案された「パートナーシップでまちづくり『ENAFES』」が実現しました。

これは恵那西中学校から「地域活性化」「中高生の交流の場」としてぜひ実現させたいと提案されていたものです。内容は、生徒たちによる実行委員会でプロデュースされました。

当初の願い通りSDGsなどの活動紹介・作品展示・様々な体験コーナー・未利用食品の回収によるフードドライブ活動などが企画されました。多くの参加者は市内の取組を知ったり、親子で楽しんだりすることができました。特にステージイベントは大盛況で、ENAFES実行委員会が企画し、お笑い芸人の井戸田潤さん・フリーアナウンサーの西村千穂さんの司会により恵那西中学校3年生有志の合唱から始まり、未成年の主張では恵那東中学校の吹奏楽部の演奏から会場内の皆さんを巻き込んだダンス、独唱とすばらしい舞台が繰り広げられました。その後、市内8中

学校からの出題で恵那クイズ大会が行われ、声援と歓声と笑いで大いに盛り上がりました。緊張気味の参加生徒も井戸田さんとの軽妙なやり取りで、気持ちがほぐれていく様子が見られ、とてもいい経験になったと思います。

何よりも「未来を語る会」で発信したことが実現して、中学生・市民の交流の場を作ることができたことが第一歩。このことを恵那市の未来に繋げて行きたいと考えました。

ファイナーレは中学生が企画し、課題を克服しながらのENAFESをやり遂げた充実感が溢れるものとなりました。



ENAFESの当日の様子

編集後記

新たな任期がスタートいたします。前期における様々な議案審議の中、多くの議案が改正成立に至るには関係委員会を通じ、あらゆる方面から想定し、提案を受け、審議を重ね、議決され成立に向かうこととなりますが、必ずしも満場一致とはならない場合もあります。

しかし、市民の皆様にも大切な暮らしに関わる改正議案、さらには住みやすさを求める条例の改正を含め、これまで同様きめ細やかな議会運営の中、開かれた議会を尊重し今後も取り組んで参る所存です。新たな体制により出発いたしますが、恵那市政運営に向けて議会機能を十分に発揮し邁進する覚悟です。

今後も恵那市議会へのご理解とさらなるご支援を賜ります事をお願い申し上げます。編集後記とさせていただきます。(T・S)

広報広聴特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐々木 透 |
| 副委員長 | 太田 敦之 |
| 委員 | 林 貴光 |
| | 服部 紀史 |
| | 平林多津子 |
| | 安藤 直実 |
| | 堀 光明 |

※この議会だより80号についての編集は、前任期の委員により作成されました。

今回の議会だよりは、令和7年3月1日の発行を予定しています。